

住宅用火災警報器について説明します

1. 住宅用火災警報器とは火災による熱や煙を感知して警報器の設置場所及び近隣にいる者に火災が発生した旨の警報を発することができるものを指します。
感知を行う部分と警報を行う部分が一体化しているものを言います。
2. 消防法の規定により、住宅内に火災警報器を設置する事が義務付けられています。
(ドリームハイツも2011年5月までに設置が義務付けられています)
3. なぜ、消防法で住宅用火災警報器が義務付けられたのでしょうか？
 - 1) 火災による死亡者の約6割が「逃げ遅れ」です。
その「逃げ遅れ」を防ぐ目的で義務付けられました。
 - 2) 特に「逃げ遅れ」の約6割が65歳以上の高齢者が占めています。
 - 3) 火災の恐ろしさは煙による「一酸化炭素中毒」です。
 - 4) 火災から命を守るには、初期段階で火災を発見して、避難する時間を少しでも多く作る事が重要となります。
 - 5) 住宅用火災警報器の設置が義務付けられている場所はドリームハイツでは「全ての寝室」です。
 - 6) 就寝時間帯の死亡者が多いので、最も効果の高いと考えられる「寝室」を義務化しています。

住宅防火

いのちを守る7つのポイント

対策4

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力的体制をつくる。



対策2

寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。



対策1

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。



対策3

火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。



習慣2

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



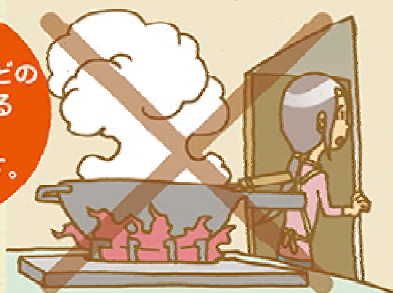
習慣1

寝たばこは、絶対やめる。



習慣3

ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



いざというときのために…

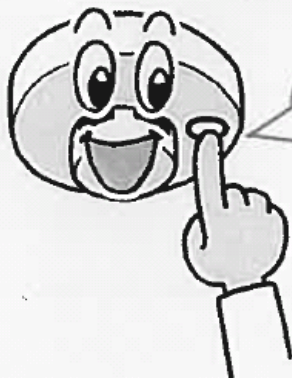
定期的に住宅用火災警報器の作動確認をし、警報音を聞きましょう。

音を鳴らしてみよう



作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。

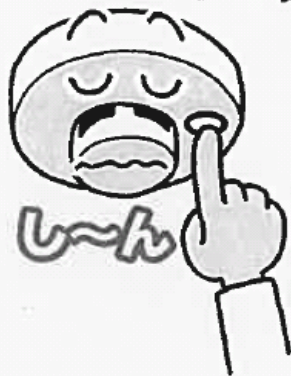


ピーピーピー
火事です ※



ピーピーピー
火事です ※

ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、以下のことが考えられます。



▶ 電池は、きちんとセットされているかご確認ください。

▶ それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。



出展：日本火災報知機工業会 より

※この警報音は代表例です。

※ 耳の遠い人のためには警報音に加えて、ライトがピカピカ光るタイプがあります（このタイプの設置には簡単な工事が必要です。ご入用の方は自治会事務所までご連絡ください。）

県ドリームハイツに設置されている警報装置（非常ベル）について

各家庭に備え付けられている玄関の非常ボタンを押して、非常ベルを鳴らします。
非常ベルは2階、5階、8階、11階、14階のエレベータホールの上部にあります。

県ドリームハイツ防災隊 隊員募集中 !!

大規模災害に備えて防災隊員の増強のため隊員を募集しております。
年齢は問いませんが特に機動性の高い若い人のご応募を希望します。
希望される方は自治会事務所（ Tel 851-2596 ）まで



ご協力をお願いします